

# Gender Equality

# ジェンダー平等

今とこれからを輝いて生きる

# それは、だれもが輝いて生きる社会

約20年にわたり愛読いただいた「男女が共に生きるメッセージ～女と男のパートナーシップ～」は、今回から「Gender Equality(ジェンダー・イクオリティ)～今とこれからを輝いて生きる～」にコーナータイトルを変更します。より多様になってきた現代社会の全ての人によりよい生き方へのヒントをお届けします。

## ジェンダーって？

ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性のことです。

例えば日本では、右表のように「男性は強くたくましい」「女性はおとなしく優しい」という印象を持っている人が多いようです。しかし実際は、もちろん一人ひとり個性が違います。このような社会的・文化的につくられた「男(女)らしさ」の押しつけを「性別役割分担意識」といい、これが原因で生きにくさを感じ、本来の能力を発揮できていない人は少なくありません。

ジェンダーの不平等は、国際的な課題として認識されており、2015年9月、国連サミットで「SDGs」という持続可能な開発目標(全17目標)が決定されました。その中で、5つ目の目標として、「ジェンダー平等の実現(ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを達成することをめざす)」と謳われています。

ジェンダー平等を実現し、だれもが輝いて生きることができる社会をつくりましょう。



## 社会的につくられた性(ジェンダー)(例)



例

### 女らしさ

- 静か(おしとやか)
- か弱い
- 料理や裁縫が得意
- 声がか細い
- サポートがじょうず
- ご飯控えめ 少食
- おしゃべり

例

### 男らしさ

- 活動的(わんぱく)
- 力持ち
- 工作やスポーツが得意
- 声が大きい
- リーダーシップをとる
- 大盛りご飯を食べる
- 寡黙



## 内閣府「第5次 男女共同参画基本計画」決定

ジェンダーに関する国際調査の結果から、日本は諸外国に比べて女性の社会参画が遅れていると指摘されています。その原因とされるのが、社会の中の「固定的な性別役割分担意識」です。そこで国は、令和2年12月に「第5次男女共同参画基本方針」を決定し、「2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることをめざす」という新しい目標を定め、89項目の具体目標を発表しました。

男女がますます活躍することをめざす、この「第5次男女共同参画基本計画」が始動するのはこの春です。新しい春、みんなが輝く社会をつくっていきましょう。

☎総務広報課男女共同参画推進室 ☎72-2111

おごおり

配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか？ひとりで悩まずに相談してください。

**女性ホットライン ☎092-513-7337**

月～金曜日/午前10時～午後5時(祝日、12月29日～1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに、専門の相談員が対応します。

